

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	統括部局：学長室	担当部局：学長室
大項目	6 教育内容・方法・成果（研究科）《全学的な視点》	
中項目	6.2 教育課程・教育内容	
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ（学部） コースワークとリサーチワークのバランス（院）	
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。	
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供（学部） 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供（院） 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供（専院） 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容（学部）	

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. コースワークとリサーチワークのバランスをとり体系的なカリキュラムを編成する。	→カリキュラムの編成を検証するための委員会の開催	C
2. 国際的な学会・研究雑誌等で研究成果を発表する優れた若手研究者を輩出するための教育システムを確立する。	→国際的な学会での発表件数及び研究雑誌への掲載数、海外への留学者数	C
3. 文理融合型の研究科横断的な枠組みを設定する。	→文理融合型の研究科横断的な枠組み設定を行うための委員会の開催	C

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

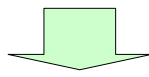
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目6.2.1	(方針) 本学大学院においては、その目的である専門の学科の教授研究、深広な学識と研究能力とさらに進んで研究指導能力の涵養、高度の専門的職業における深い学識及び卓越した能力の修得を実現するためには、教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成し、各課程に相応しい教育内容を提供して行かなければならない。 (現状説明) 各研究科においては、学位取得プロセスを学生に明示しており、リサーチワークについては体系的に行われている。また、専門職大学院においては修了要件が明示されており、コースワークも順次性があるものといえる。
☆ 小項目6.2.2	(現状説明) 大学院教務学生委員会において文理融合型の研究科横断的な枠組みを検討する委員会の設置が認められ、次年度より検討が開始されることが決定した。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	



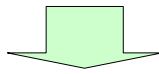
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★その他 (自由記述)	
----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○6.2.1の「現状説明」には判断の根拠が十分に示されていないように思われます。検証する仕組みが必要ではないでしょうか。また、6.2.2の新しく設置される委員会の活動が注目されます。

【学内委員】

○目標1. の進捗評価は「C」となっています。一方、《小項目ごとの現状説明》の小項目6.2.1の現状説明内容と整合性が取れた評価になっているのでしょうか。また、HPでの公表も十全なものか今一度精査をお願いします。

○自己点検・評価は、本学の状況や考え方を社会にわかり易く説明する役割もあります。また、認証評価につなげることも視野に置く必要があります。加えて、本シートを見ればある程度のこととわかる必要があります。そのためにも、もう少し詳しく現状説明されることを希望します。

○「学校教育法施行規則等の一部を改正する省令」が2011年4月より施行されます。内容を十分吟味され、遺漏のない様に対応してください。なお、努力義務である項目についても早急に対応しておくことが望まれます。

○小項目6.2.1の現状説明において、(方針)として教育課程の編成方針・実施方針につき記述されていますが、ここは現状説明だけで結構です。教育課程の編成方針・実施方針は、6.1.1で記述してください。

○小項目6.2.1の現状説明では内容がつかめません。もう少し説明をお願いします。

○小項目6.2.2の現状説明では小項目で問われていることに十分応えていません。もう少し説明をお願いします。

○改善すべき事項はないのでしょうか。

○大学基準協会の「評価に際し留意すべき事項」(ハンドブックP78～)に留意してください。ここで示されていることについて現状説明していくことも基準の自己チェックにもなり有効です。基準に達していない場合は、必ず記述してください。

○大学院にはさまざまな目標をもつ多様な学生が混在しています。したがって、それぞれの目標に応じた教育内容・方法を明確にすることが必要です。良い成果を得るためにはこのことは避けて通れないでしょう。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★注記) 「コースワーク」とは、大学が用意した複数の科目から大学の規定と自分の学習テーマに沿うものを選択履修するもの。「リサーチワーク」とは指導教員のアドバイスを受けながら独自の研究テーマを追求するもの。

V. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

6.2.0.S1	カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
6.2.0.S2	MDSプログラム履修者の全学生に占める割合
6.2.0.S3	ジョイント・ディグリー制度への参加者の全学生に占める割合
6.2.0.S4	専門教育、教養教育、外国語教育、情報教育等ごとの開設授業科目数

<個別的な指標>
